



鷹山宇一記念美術館友の会会報

第73号

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

平成 25 年 12 月 15 日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

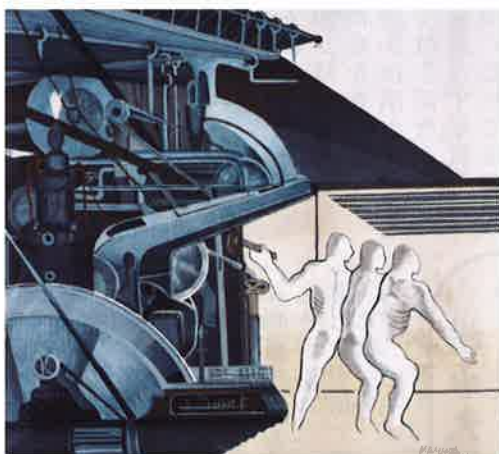
〒 039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一 「行く花」 1942年 (紙・パステル)

美術文化協会第3回展出品



鷹山宇一 「失題」 1946年 (紙・木版)

二科会第31回展出品



鷹山宇一 「機械と虫」 1930年 (紙・木版)

「シュールレアリスムとその鷹山宇一」

鷹山宇一が二科会にデビューを果たしたのは1930年二科会第17回展においてであった。シュールレアリスム風の木版画が2点初入選する。

鷹山は昨年(1929)の第16回展に登場し世評を驚かせた「超現実主義」と呼ばれる「新傾向絵画」に、高田力蔵、高井貞二ら若手作家といちはやく追隨して、第1室を占領した。二科会における「超現実主義」は、古賀春江の作品にみられるような、20世紀文明を象徴する機械のイメージを主題として、複数の映像の断片を組み合わせてひとつの連続したシーンを作るモンタージュ技法を駆使したモダニズム絵画が主流であり、理知的で都会的な透明感のある感覚による画風が特徴的であった。日本の近代版画において「超現実主義」の影響はあまり現れてこなかったが、鷹山は木版画でもって、複雑な多版表現を駆使してシュールレアリスム版画を追求し、幻想的な作品を制作した。

当時の時代背景から考えるに、「前衛」傾向の作品を制作するということがいかに厳しい弾圧を受けることになるかは想像に難くない。現に、鷹山が会員であった日本の前衛芸術家の団体である美術文化協会の福沢一郎と滝口修造が第2回展開催直前に、日本のシュールレアリスムの首領として、治安維持法違反の嫌疑により検挙・拘束される。それを発端として、各地でシュールレアリスム弾圧事件が起こった。

戦争の犠牲となった画家も多く、日本のシュールレアリスム運動は完全に抹殺されることになる。

鷹山は戦後、二科会を拠点に活動し、「現代日本の稀有な幻想画家」と称されるようになるが、自らの作品をこのように語る記述が残っている。

※「ぼくは、若いころはシュールの絵を描きました。シュールは夢的な具象ですよ。ぼくはこのところ、花と蝶をテーマにして描いているけれど、考えてみれば、ぼくの絵の系列はシュールでしょうね。最近になつて、ぼくはしみじみそう思います。」※鎌原正巳「鷹山宇一の人と作品」(『季刊美術誌 求美』70 涼風号)4号、1970年)

参考文献：日本のシュールレアリスム(名古屋美術館)

(学芸員 奥山庸子)

海外駐在余話

その3

神奈川県二宮町 野谷善達

文化の交差点

○「右側通行」

米国で車を運転し始めのころ何回か失敗をした。特に左折が問題で交差点の反対車線に車が停車してれば「オットットトト！」と早めに路線の間違いに気づくがそこに車が止まっていない場合にスーッと反対車線に入ってしまったことがある。大抵の場合交差点で信号で止まっている他の車が「ブーブー」クラクションを鳴らしてくれるのでそれで気づく。しかし休日の朝など車が交差点にいない時などはそのまましばらく走ってしまいそのうち正面から車がこちらに近づいて来ることになる。当然パニック状態になる。パニックとまず最初瞬間的に相手の車が路線を間違えていると思う。己が間違っているとは決して思わない。後で冷静に考えると「人間は如何に自己中心的に物事を考える生き物か」と思い知らされることになる。米国の知り合いの人が日本と同じく左側通行の英国に旅行に行き第一日に正面衝突事故を起こした。右側通行にはご注意ください！

また日本では踏み切りを通過する場合警報機が鳴っていないともいっ

たん一時停止する。米国ではまったく逆で一時停止すると後続の車から大変なブーイングを食らう。踏み切りでは一時停車してはいけないのであります！

○「雨のなか傘を

差さずに歩く米国人」

米国人の友人が日本に行つて驚いたことは日本では小雨が降り始めるとはぼみんなが一斉に傘を差すことであつたそうです。確かに雨の多い米国のシアトルなどでは小雨などではほとんどの人は傘を差さず平気で濡れて歩いている。雨にぬれて風邪でも引かないか心配してしまう。そういう言えばヨーロッパなどでも上着の襟を手で持ち上げながら雨に濡れながら歩く人が多かつた気がする。英国のスポーツはほとんどの雨でも中止せずにやるものが多い。なぜ欧米人は雨に強いのか？不思議です。個人的なことですが私は雨に濡れるのが大嫌いなので天気予報が曇りであってもいつも携帯の傘を持ち歩くので妻に笑われています。

○「買ってもらつてありがどう、

売ってくれてありがどう」

普通日本ではものを買った時「ありがどう」はどちらが言うのでしょうか。売り手？買い手？日本では大部分は売り手でしょう。「買ってくれて」ありがどう」ですね。ところが欧米ではかなりの比率で買い手が「（売ってくれて）ありがどう」と言う。日本の場合「お客様は神様」

の風潮が強いですが欧米では買い手と売り手の立場が対等ではないにしてもかなり近い感じがする。これは企業間の取引でも見受けられる。米国の駐在の当初、数年間単身赴任していたせいか店で買い物をして私が店員にお礼を言っているのを久しぶりに合つた妻がみて「あなたが礼を言うのは変である！」と文句を言われたことがあつた。私もかなり米国の「悪しき習慣」に毒されてしまったようである！

横山大観記念館

を訪ねて

七戸町 照井壽一

日本画の巨匠・横山大観が明治42年から居住、制作活動を行い、昭和20年の空襲で焼失した建物の土台を生かして昭和29年に再建した住居をそのまま公開している東京都台東区池之端にある「横山大観記念館」を訪れました。

記念館に入ると中はビル街の一角とは思えない静かで歴史を感じさせる落ち着いた雰囲気でした。



京風数寄屋造りのこの建物は、現在では台東区指定の史跡として



るそうである。客をもてなすための囲炉裏が設けられ重要な

文化財「不動明王立像」が置かれ、四季折々の庭園が窓から眺められる客間「鉦鼓堂」は大観がお気に入り部屋だつたそうです。大観が暮らしていた居住空間、客間や画室、床の間、通路に展示された写真や掛け軸などの作品を木造家屋の温もりを感じながらゆつたりと鑑賞、心安らぐひとときを過ごすことが出来ました。感謝。

かつては書生部屋だつたという売店で「緑雨」と題した色紙を記念に購入して帰路につきました。

ご利用案内

開館日 木曜日から日曜日
 開館時間 午前10時から午後4時まで
 休館日 月曜日から水曜日 入館料 大人 500円
 交通 JR・地下鉄など

- ・地下鉄千代田線「湯島駅」から徒歩7分
- ・地下鉄銀座線「上野広小路駅」から徒歩12分
- ・地下鉄大江戸線「上野御徒町駅」から12分
- ・JR「上野駅」「御徒町駅」から徒歩15分
- ・京成線「京成上野駅」から15分

*ご訪問の際は、横山大観記念館のホームページの最新情報をご確認下さい。

画伯「鷹山宇一」を
支えた無二の仲間

「鷹山宇一素描集」の序文の末尾で、鷹山宇一画伯は、「絵筆一本の人生を歩ませていただいた私は、本当に幸せ者でございます。」と述べています。

彼が絵を描こう
と思いを抱き始め
たのは、七戸尋常



高等小学校（現在の七戸町立七戸小学校）の四年のときです。学級担任の青山哀因は、わざわざ青森に出かけ購入した児童文学雑誌創刊号「赤い鳥」を学級回覧するなど自由主義的教育を大切にしていました。宇一少年は、先生から「どんな絵を描け。」と励まされたことを自ら語っています。



大正十一年、旧
制青森中学校（現
在の青森県立青森

高等学校）へ入学して間もない頃、学校のそばの合浦公園で、目をカンパスに接するばかりに近づけて夢中になって描き続け、あつという間に

一枚の絵を完成した少年がいました。その少年は棟方志功であり、彼の余りにも奔放な制作ぶりに宇一少年は驚かされました。

後になって、棟方志功が、「オメツ、絵コ好きダカ。」と聞くと、「好きダ。」と言ったのです。それを機に仲良くなり、絵のことや自分たちの将来のことなどについて、いろいろ語り合うようになったそうです。

大正十二年、棟方志功が主宰していた青光画社という会の一員にして貰って一緒に展覧会をやりました。

青光画社には、木造町の桶屋の息子で、やがて独特の絵画世界を確立し国画会会員となる松木満史と、大湊出身で、のちに日本美術院賞を受賞する程の彫刻家となる古藤正雄がいました。

時は流れても、美の追求をしてやまない同志の信頼という心の絆は切れることはありませんでした。

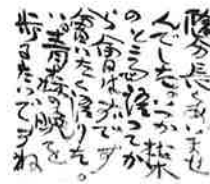
その証として、棟方志功が鷹山宇一宛ての葉書には、次のようにしたためていました。



「一九七四年度の美術年鑑を見ていましたら、大仁が書かれたわたくしに對しての言葉があつて驚きました。深大とありがたく忝じけなく頂戴いたしました。元氣様であられ、次々のお仕事のこともチャヤとともに喜び居ります。松木は死んで残念でした。古藤が大湊で銅像づくりでい

そがしくやっています。」

棟方志功が同胞を思いやる人間性の一部を垣間見ることができま
す。それだけ若
き時代に苦難の
道を共に歩んで
きたことで培わ
れた心の絆の強
さを物語ってい
ると思います。



画友「棟方志功」を偲ぶ

鷹山宇一の心温まる表現

棟方志功が病死した昭和五十年にT新聞社紙上に載せた追悼文があります。

「いつの日であったか、志功の奥さんが、うちの志功は大変眼が悪く、このまゝでは盲になる恐れがあるので早急に入院させたいが、私たちのいふことは一切受けつけないから、あなたから忠告してくれといわれたことがあった。ところが、当の本人は、盲になったら心眼で彫ると頑張るので、呆れてしまった。その猛烈頑張屋さんも病魔を退散出来ず、とうとうお陀佛になった。

しかし、世界の志功にのし上がり、数々の世界的芸術賞を受けたり、わが国の芸術家の最高榮譽でもある文化勲章をものにしたことでもあるので、文句のあるはずもなく、人々の哀惜をよそ目に目出度く三途の川にさしかかっているとところかも知

ないのである。

昭和の初めの頃、東京近郊の阿佐ヶ谷界隈が、志功さんはじめ我々の居住区でもあったころ、我々四人の芸術仲間、またケンカ友達でもあった。

四人の芸術仲間とは、青森時代からの画友で、棟方志功大人、最近亡くなった洋画家の松木満史親方、郷里むつ市に隠遁した彫刻家の古藤正雄仁人の三人と私のことで、酒宴に顔でも合わせようものなら自己流の芸術迷論を口角泡を立ててまくしたて、己だけ大天才で、お前たちは凡くらだとお互いに言い張るのであるから、これではケンカになるのが当然で、結局、



口ケンカに負けたやつは腹をたててかえるのであったが、翌日になるとケロリと忘れて、一にも勉強、二にも勉強であったから、若き時代の楽しい日々でもあった。

「どうだい己だけ大天才で、お前達は凡くらであつたげなまいったく恐れ入りやした。

眞土の旅路をいそぐ志功さんの得意顔が目に見えてくるようである。」

文音信は疎遠であっても、心音信は永久に続く、眞の朋友でした。

●美術館日誌●

○9月○

- 1日(日)友の会旅行説明会6日
- (金)8日(日)WS灯籠ナイト15
- 日(日)七彩会油画教室開催19日
- (木)交流会(七戸商工会館)船山館
- 長出席20日(金)七戸街中大芸術祭
- 開会セレモニー(商店街中央ビル)
- 船山館長出席25日(水)しちのへオ
- 1タムフェスタ2013説明会(就業改善センター)船山館長出席26日
- (木)県交通政策部、取材のため来
- 館27日(金)県文化財パトロール(絵馬収蔵庫)
- 10月○
- 6日(日)七彩会油画教室開催12日
- (土)14日(月・祝)まちかど美術
- 館17日(木)大鰐町成人大学来館19
- 日(土)ぐれつとバスツアー20日
- (日)七彩会油画教室開催25日(金)
- 青森大学来館26日(土)27日(日)
- オータムフェスタ
- 11月○
- 2日(土)七戸中職場体験打ち合わせ(生徒3名来館)3日(日)ぐれつとバスツアー6日(水)澤田様(4名様)来館9日(土)鷹山賞授賞式10日
- (日)七彩会油画教室開催14日(木)
- 七戸中職場体験(生徒3名来館)15
- 日(金)三役会議19日(火)七戸小2

学年、4学年見学のため来館21日
(木)城北保育園職場訪問のため来館(園児18名)22日(金)BUNKA新聞社祝賀会(富士屋ランドホール)船山館長出席23日(土)理事会26日(火)十和田工業高校(建築科3名)見学のため来館27日(水)城南小2学年、5学年見学のため来館29日(金)十和田電鉄観光(11名)来館。城南小3学年来館30日(土)評議会

◆◆◆近隣美術館情報◆◆◆
◆◆◆十和田市現代美術館◆◆◆

◆◆◆十和田奥入瀬芸術祭ドキュメント展◆◆◆
◆◆◆美術館展示会期延長◆◆◆
2013.1.13(月祝)

十和田奥入瀬芸術祭のドキュメント展を街中エリアで開催いたします。芸術祭を検証し、将来につなげるための試みです。また、芸術祭の十和田市現代美術館展示は好評につき会期延長いたします。

【まちなか会場】
会期 平成25年12月14日(土)～平成26年1月13日(月祝)
開場時間 10時～16時(予定)
休場日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
※冬期休場日 12月26日(木)～1月6日(月)
ただし会場によっては臨時休業日を設ける場合がありますので、

あらかじめご了承ください。
会場 中心商店街(bank to wada、松本茶舗、たかむら食料品店ほか)※十和田市現代美術館でマップを配布いたします。
観覧料 無料

【十和田市現代美術館会場 延長展示】

会期 平成25年11月30日(土)～平成26年1月13日(月祝)
開場時間 9時～17時(最終入場は16時30分まで)
休場日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
※冬期休場日 12月26日(木)～1月1日(水祝)

会場 十和田市現代美術館
企画展示室
観覧料 企画展+常設展セット券1000円

・企画展の個別料金は一般600円
・常設展の個別料金は一般500円
・高校生以下無料
・団体(20名以上)100円引き

◆◆◆水田のようせいタンポクル展◆◆◆
H26年1/2(木)～1/13(月祝)

主催 十和田市立南小学校
日時 平成26年1月2日(木)～1月13日(月祝)
開場時間 9時～17時 無料
会場 十和田市現代美術館
市民活動スペース
問い合わせ 南小学校
野坂(0176-232285)
◆5年生109名の子どもたちが、そ

れぞれの思いで制作した水田の守り神のかわいらしさ、美しさ、勇ましさを感じてください。

◆◆◆寺山修司記念館◆◆◆

◆◆◆寺山修司の言葉展◆◆◆
11/30(土)～H26年3/30(日)

先人たちが残してくれた、心に響く言葉、本質を捉えた言葉などを、「名言」といいます。詩人、劇作家、写真家、映画監督、多くのジャンルで活躍したことで知られ、「言葉の錬金術師」と呼ばれた寺山修司は、「私が死んでも墓は建ててほしくない。私の墓は私の言葉であれば充分」と書き残すほど、多くの偉大な言葉を生み出しました。そんな寺山修司の色褪せない魅力の一つである「言葉」に、没後30年の今日も沢山の人が感化されています。時には心を揺さぶり、時には答えを導き、時には創造力を駆り立てる、一つの言葉。「寺山修司の言葉展」では、あらゆるジャンルで活躍するトップクリエイターたちが寺山修司の言葉にインスパイアされた作品を発表します。クリエイターの視座から、時代の価値観によって変換し、視覚的に表現された寺山修司の言葉をご覧ください。

会期 平成25年11月30日(土)～平成26年3月30日(日)
会場時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
入場料 一般500円(常設展入館料含む)

「出雲大社と足立美術館の旅3日間」を堪能!

平成25年度第2回国内研修旅行、初秋の山陰地方を旅する「出雲大社と足立美術館の旅3日間」に参加された方から研修旅行記をお寄せ頂いたものでご紹介いたします。

行って、観て、
満たされた
出雲三日間

青森市 小野次郎

青森空港に勢揃いした今回の鷹山美術館一行は、羽田乗り継ぎ後、抜けるような青空の出雲空港へ着陸。神話の国・出雲にふさわしく、道中ガイドには覚え切れない神々が登場。日本の夜の守り・日御碕神社参拝後、パワースポット・稲佐の浜へ。真つ赤に沈む日輪に、建御雷神と大國主命による譲り対面神話を重ねた後、島根ワイナリーで夕食へ。しまねワインに満腹、満足のバスへの途中、虫?の異常高音に疑問!連続。この香回答に「ワインの自信



稲佐の浜の夕陽

に酔えばこおろぎもバカ騒ぐのか?と半信半疑。翌二日目も快晴。六十年に一度のリフォームを了えた大社参拝。遷座式が五月だったにも拘わらずひとりで賑わい中。十年前の島根インターハイ、名物しめ縄の大社に詣でたと思った所が実は神楽殿で、今回は間違いなく金色に輝く千木の本殿に参拝。おまけは、大社東南寄りの博物館で、大量出土したあの国宝の銅剣や銅鐸を存分に鑑賞できたこと。出雲そば会席の昼食後、この日の目玉・足立美術館へ。手入れ満点の庭に圧倒され、大観の「紅葉」や他の大家名品と立会い後、私と家内は桂離宮を模したという瑠璃と油壁の茶室「寿立庵」で、何事も休験とば

★皆様からのお便り、旅行記等をお待ちしています。
皆様への会報です。研修旅行に関するご意見、ご要望。お便り、旅行記等をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

か?と半信半疑。翌二日目も快晴。六十年に一度のリフォームを了えた大社参拝。遷座式が五月だったにも拘わらずひとりで賑わい中。十年前の島根インターハイ、名物しめ縄の大社に詣でたと思った所が実は神楽殿で、今回は間違いなく金色に輝く千木の本殿に参拝。おまけは、大社東南寄りの博物館で、大量出土したあの国宝の銅剣や銅鐸を存分に鑑賞できたこと。出雲そば会席の昼食後、この日の目玉・足立美術館へ。手入れ満点の庭に圧倒され、大観の「紅葉」や他の大家名品と立会い後、私と家内は桂離宮を模したという瑠璃と油壁の茶室「寿立庵」で、何事も休験とば



寿立庵外観

足立美術館ご利用案内
○所在地 島根県安来市古川町320
○お問合わせ先 TEL 0854-28-7111 FAX 0854-28-6733
○開館時間 4月～9月 9:00～17:30 10月～3月 9:00～17:00
○定休日 年中無休
*新館は、展示替え期間中は休みご訪問の際は足立美術館のホームページで最新情報をご確認下さい。

(掲載写真は研修旅行に参加された会員様からご提供頂きました。)



鷹山宇一記念美術館友の会 「出雲大社と足立美術館の旅3日間」

